

文化交渉学 専攻 領域（博士前期/修士・博士後期・前後期共通）

試験科目：第 外国語（英語） / 専門科目（ ）

試験時間：（ 90 ）分

※次の文章を日本語に訳しなさい。

(Yoroku: The shortcomings and the promise of the film 'Oppenheimer', March 12, 2024, Mainichi Japan)

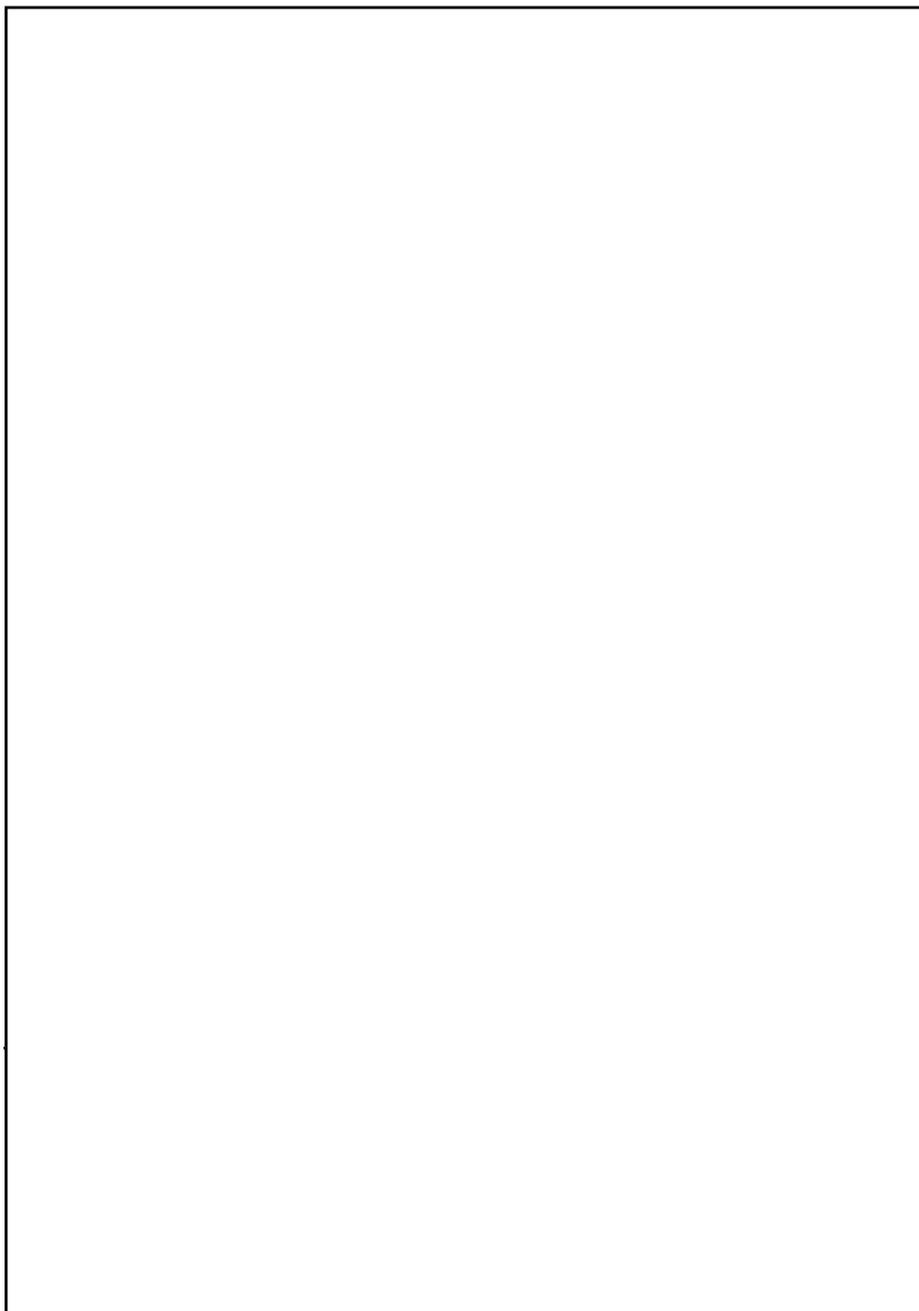
文化交渉学 専攻 _____ 領域（博士前期/修士・博士後期・前後期共通）

試験科目：第 / 外国語（中国語） / 専門科目（ ）

試験時間：（ ）分

[問題]

次の中国語文の下線部①～⑤を分かりやすい日本語に翻訳しなさい。



費孝通「郷土本色」『郷土中国』上海人民出版社、2006年、5～6頁）

二〇二五年度大学院入試問題 文化交渉学専攻

博士前期課程 試験科目「小論文」(六〇分)

- *以降のページにある問題1、2のうち、一つを選んで解答しなさい。
- *選んだ問題の番号を解答用紙に明記すること。

文化交渉学

専攻

領域（博士前期/修士・博士後期・前後期共通）

試験科目：第 外国語（ ） / 専門科目（ 小論文 ）

試験時間：（ 60 ）分

① 次の問題文を読んで、以下の各問いに答えなさい。

一、問題文に引用されている、

二、文末の傍線部は、問題文の筆者が、当時の仏教（における女性）の語られ方を批判したものである。では筆者は、逆にどのような語られ方が大切だと考えているだろうか。三〇〇字程度で説明しなさい。

それに対する鷗外の反駁を、各々一〇〇字程度で要約しなさい。

〔参考文献〕

杉山二郎 2000 「森鷗外とインド学・仏教学」 『国際仏教学大学院大学研究紀要』 3
森林太郎 1975 『鷗外全集』 35 / 日記 岩波書店

文化交渉学

専攻

領域 (博士前期/修士・博士後期・前後期共通)

試験科目: 第 外国語 () / 専門科目 (小論文)

試験時間: (60) 分

2

次の文章は神谷美恵子『存在』の重み——わが思索 わが風土』の一部分である。これを読んで後の問いに答えなさい。

- 一 筆者が経験した、
二 傍線部
とはどのようなことか。本文に即して説明しなさい。

